

## ■ 講評

高齢者住宅での家庭内事故防止、バリアフリー化、障害を持つ人たちの自立促進を目指して、日曜大工の住宅改善ボランティアとして、平成6年より活動を続けている。材料費と交通費を基本に、取り付けた手すりは3,800本を超え、段差解消も過去5年間で1,100件を超える。

長年の活動や行政の住宅助成事業等により、その活動は市民にとけ込んでおり、さまざまな報道等を通じて全国に及ぼした影響も大きい。

依頼主とのコミュニケーションを大切にし、心のケアも活動の一端とするとともに、近年は高齢者向けのパソコン教室もその活動に加えている。

会員のほとんどがサラリーマンを退職した高齢者であり、平均年齢69歳、最年長者は79歳という、高齢者自身が高齢者を支え、また活動を通じて会員自身が新たな生き甲斐を見つけている点もユニークである。



作業風景